

日刊自動車新聞

The Paper

第2部

関東5県 (千葉・埼玉・群馬・茨城・栃木) 自動車流通特集

千葉県

バリューチェーン強化に活路



販売各社

先行き不透明感拭えぬ中でも

2026年度の千葉県自動車流通業界は、引き続き不透明な状態を抱えながらも堅調な推移が見込まれている。この数年はコロナ禍、半導体不足、完成車メーカーの認証不正による生産停止といった外部要因に揺さぶられてきた販売・整備業界だが、新車の長納期傾向は依然として残りながらも一時の状況からは脱しつつある。新年度を迎える県内業界は新車、中古車、整備需要ともに底堅さが期待されている。

地域密着 社会貢献を意識

保有増が続く 県内の販売会社では新車受注の停滞感が高まっている。一部では、新型車効果などによる良い手応えを感じている販売もあり、すべての顧客の購買意欲が低下しているわけではない。

だが、関係者によれば「販売車種に制限があり、受注量の確保ができなかった」上、環境性能割の廃止を見込んだ納期の先送りも見られ、それが登録・届け出を鈍らせる原因となっている販売もある。

自動車関係団体トップの声

高度車情報共有 技術向上を支援

日本経済は物価上昇やエネルギー価格の高止まり、人手不足の常態化などにより先行き不透明な状況が続いておられます。2025年度の自動車特定整備実態調査では整備総売上高は6兆6千億円と4年連続で増加したものの、自動車保有台数は昨年12月現在、全国で8347万台、千葉県で377万台(軽自動車含む)と微増にとどまり、市場の大幅な拡大は見込みにくい状況です。

また、車両の電動化や先進運転支援技術の高度化に伴うOBD検査への対応、カーボンニュートラル実現に向けた環境配慮型整備の推進、さらにはOSSの進捗や業界のデジタル化の加速など、国土交通省次期システムへの移行も含め、業界には技術面・制度面双方での変革が求められています。

関東運輸局 千葉運輸支局 菊池 雅彦支局長

社会経済活動が回復基調にある一方で、自動車業界関連においては、物価の高騰や担い手不足など、引き続き厳しい状況が続いております。千葉運輸支局としては、自動車関係業界の経営環境や労働環境の改善に取り組んでまいります。

昨年の国内自動車新車販売台数(軽自動車除く)は289万台となり、2年ぶりに前年を上回りました。一方、千葉県内の新車販売台数(軽自動車除く)は13万2856台で、前年比1.0%減となりました。

検査・登録 手続き デジタル化を加速

トップサービス(OSS)の利用が着実に増えています。時間や場所にとらわれず手続きが可能となるほか、書類作成の負担軽減にもつながっており、多くの利用者から高い評価をいただいております。

一方、入力項目の多さや関係機関とのデータ連携など、運用面で改善すべき課題も残されています。国土交通省としては、2028年のシステム更改に向け、より使いやすい手続き環境を整備を進めてまいります。



また、自社などにおいて自動車検査の有効期間の更新などが可能となる記録等事務代行も進んでいます。

千葉県自動車整備振興会 秋葉 邦男会長



このデジタル技術を活用した業務改善も不可欠だ。自動車流通業界はこうしたデジタル化が遅れ気味だったが、コロナ禍を経験して以降は各社が力を入れるようになってきた。労働集約型の業界として、新年度は販売部門と整備部門のみならず事務部門を含めたIT(情報技術)化による生産性の向上の動きが広がりそうだ。

みなさまの素敵なカーライフを最幸のサービスでサポート！



千葉トヨペット株式会社

〒261-8585 千葉市美浜区稲毛海岸 4-5-1

営業時間 / AM 10:00 ~ PM 6:00

お客様相談
テレホン(本社)

0120-161672

ホームページは
コチラから →



定休日/ 毎週月曜日(祝日の場合は翌火曜日) 左記以外の定休日もございます。詳しくはホームページの「営業日カレンダー」をご確認ください

成田空港



株式会社シュテルン千葉
メルセデス・ベンツ正規販売店



株式会社千葉マツダ



大木自動車株式会社
フォルクスワーゲン正規販売店

清水溪流広場



マツダ部品千葉販売株式会社

CMG

HOLDINGS

私たちはカーライフを通じて夢・感動・笑顔をお客様、地域と一緒に創りあげていきます

本社：千葉市稲毛区長沼町333-3
代表取締役社長 大木 康正

アンデルセン公園



カーセブン柏6号店

幕張メッセ



有限会社 みすみ钣金塗装工業



株式会社ビーアイエー
マツダオートザム正規販売店

マザー牧場



成田山新勝寺

千葉県

日本自動車連盟 千葉支部 豊永 裕次支部長



千葉県の在籍会員数は2026年2月末現在89万1377人で、今年度期首から2万5599人の増加となりました。会員の継続率を上げるための「入会時同時自動振替」と会員価値を高めるための「JAFスマートフォンプリ登録」への取り組みに注力しています。JAFスマートフォンアプリは、ロードサービス救援要請時、電話がつかないに備え、電話でも受け付けられ、お客さまに安心感を与えられます。万が一のトラブルの際に安心・安全かつ快適なカーライフを過ごしていただくよう、普及を強化してまいります。

会員事業部門では、質の高い体験を提供することと、JAF会員であることの価値を見出し、さらにはモビリティ社会の豊かさにつなげることを軸に据え、優待サービスの拡大とイベント開催をいたします。JAFをハブとして自治体や優待施設の強みを生かした特別感のある企画を創出すべく、千葉県自治体・JAF会員優待施設連絡会」におけるビジネスマッチング等を実施する予定です。

今後も「安全と安心の支えとなるサービスを提供し、移動価値が高い社会の実現を目指す」という基本理念のもと、皆さまに満足いただける価値あるサービスの提供や社会貢献活動に努めてまいります。引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

千葉県軽自動車協会 大木 康正会長



本年度の我が国の経済状況は、長引くウクライナ侵攻や中東の情勢も混ざり、不安な要素が混ざり、原価を押し上げ、資源の供給に不安な影響を及ぼしています。昨年実施されたガソリンなどの暫定税率の廃止により、値下がりが見られたガソリンなどの価格をはじめとした物価の再度の高騰が懸念されております。

このような中、昨年の軽自動車市場は新車供給の回復が進み、全国では対前年比約3・3%増の167万台、千葉県においても対前年比約7・3%増の6万7千台となりました。

軽自動車市場は新車供給の回復が進み、全国では対前年比約3・3%増の167万台、千葉県においても対前年比約7・3%増の6万7千台となりました。

このように、軽自動車市場は新車供給の回復が進み、全国では対前年比約3・3%増の167万台、千葉県においても対前年比約7・3%増の6万7千台となりました。

本年度の我が国の経済状況は、長引くウクライナ侵攻や中東の情勢も混ざり、不安な要素が混ざり、原価を押し上げ、資源の供給に不安な影響を及ぼしています。昨年実施されたガソリンなどの暫定税率の廃止により、値下がりが見られたガソリンなどの価格をはじめとした物価の再度の高騰が懸念されております。

このような中、昨年の軽自動車市場は新車供給の回復が進み、全国では対前年比約3・3%増の167万台、千葉県においても対前年比約7・3%増の6万7千台となりました。

本年度の我が国の経済状況は、長引くウクライナ侵攻や中東の情勢も混ざり、不安な要素が混ざり、原価を押し上げ、資源の供給に不安な影響を及ぼしています。昨年実施されたガソリンなどの暫定税率の廃止により、値下がりが見られたガソリンなどの価格をはじめとした物価の再度の高騰が懸念されております。

このような中、昨年の軽自動車市場は新車供給の回復が進み、全国では対前年比約3・3%増の167万台、千葉県においても対前年比約7・3%増の6万7千台となりました。

質の高い体験提供で、会員の価値を訴求



JAPANESE PREMIUM EV
NEW ARIYA



CROSSOVER EV
NEW LEAF

電気自動車の時代をリードするNISSANのEV

千葉日産自動車

日産プリンス千葉

日産サテオ千葉

■本社 〒260-0001 千葉市中央区都町3-2-2 ■お客様相談窓口 0120-235-423 ■本社 〒260-0001 千葉市中央区都町3-2-2 ■お客様相談窓口 0120-098-623 ■本社 〒261-8532 千葉市美浜区稲毛海岸2-1-21 ■お客様相談窓口 0120-092-332

千歳日産 <https://ni-chiba.nissan-dealer.jp/> プリンス千葉 <https://np-chiba.nissan-dealer.jp/> サテオ千葉 <https://ns-chiba.nissan-dealer.jp/>

千葉県

千葉県 市町村別人口と自動車保有台数

